

生産の前月比は6か月ぶりに低下

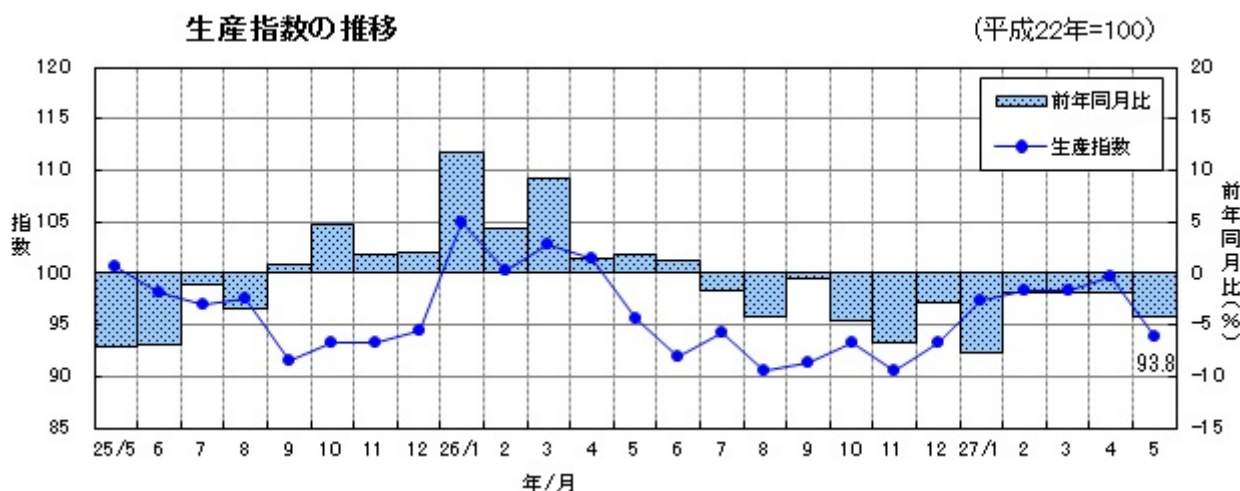
(静岡県鉱工業指数 平成27年5月分速報)

1 生産指数の動き

平成27年5月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**93.8**となり、**前月比は5.8%減と6か月ぶりに低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は4.2%減と11か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、化学、木材・木製品が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、電気機械等が低下した。

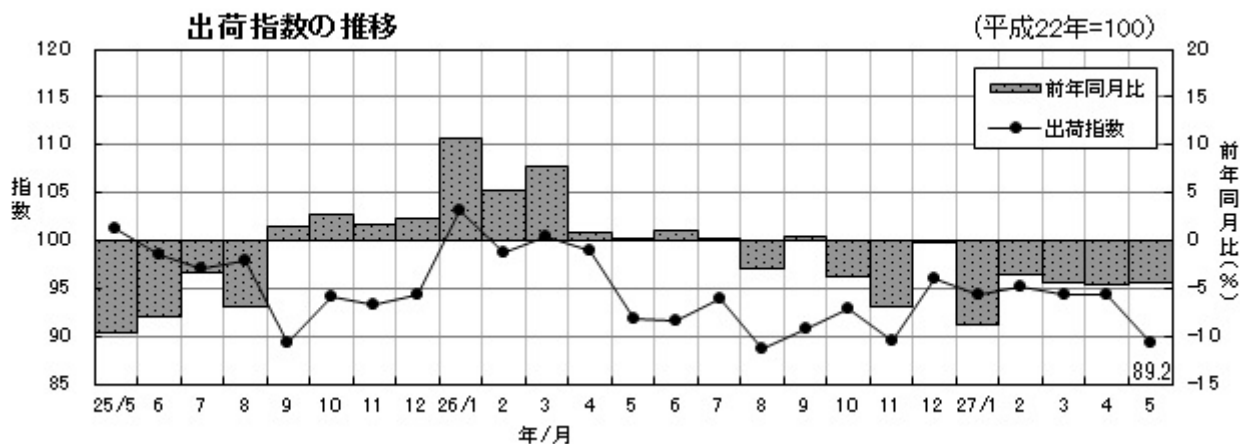


2 出荷指数の動き

平成27年5月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**89.2**となり、**前月比は5.5%減と3か月連続して低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は4.5%減と8か月連続して前年を下回った。**

業種別の前月比（季節調整済指数）では、化学、木材・木製品が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、電気機械等が低下した。

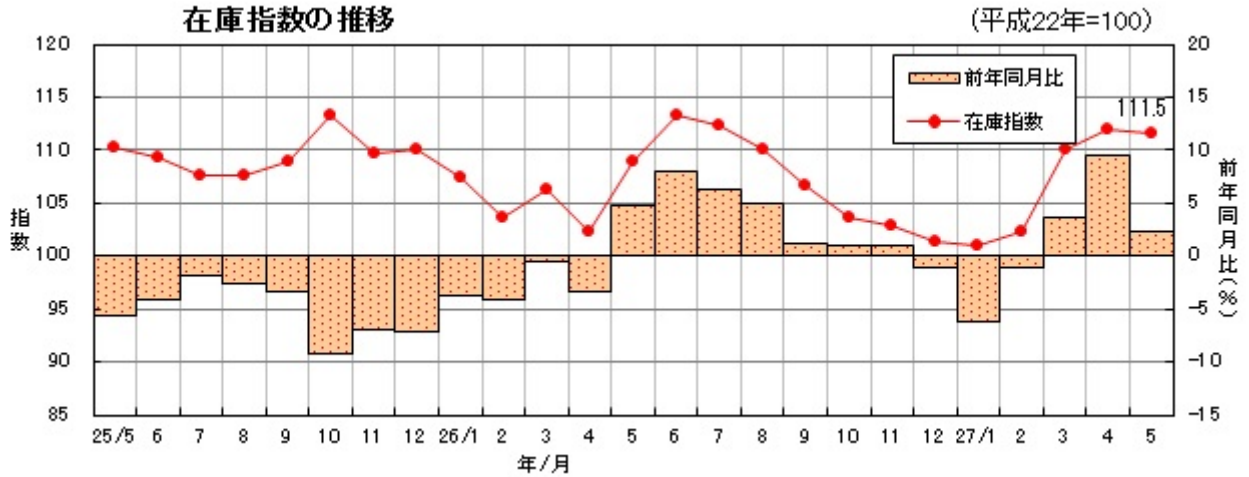


3 在庫指数の動き

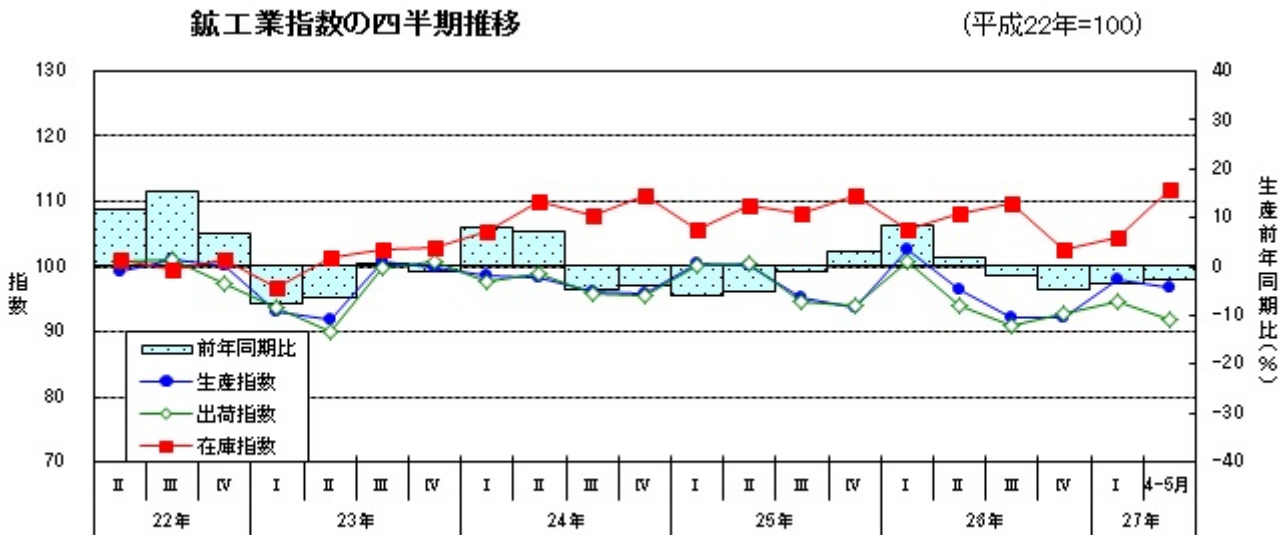
平成27年5月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**111.5**となり、**前月比は0.4%減**と4か月ぶりに低下した。

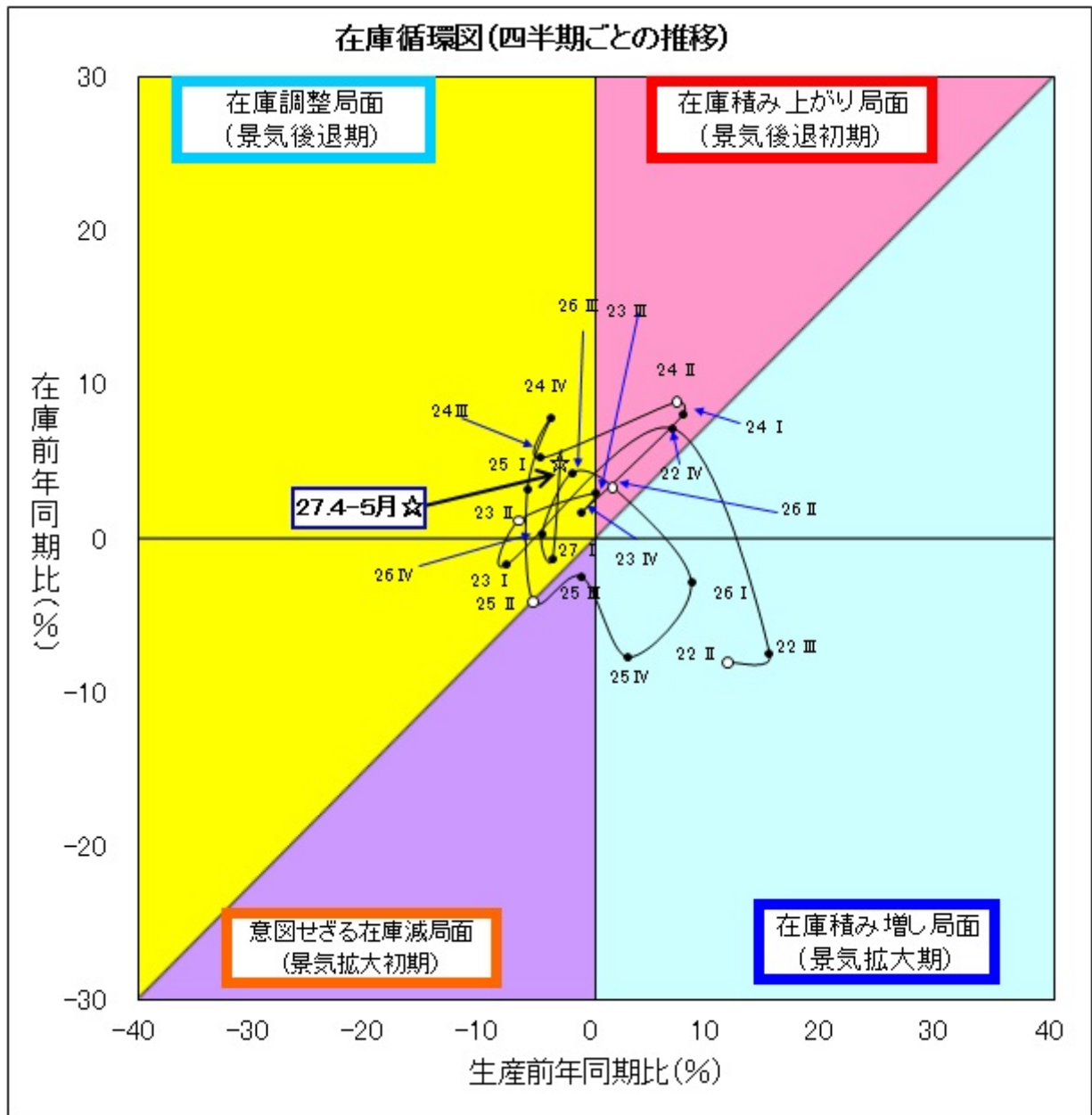
また、**前年同月比（原指数）は2.4%増**と3か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、窯業・土石製品、化学、輸送機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、はん用・生産用・業務用機械、家具等が低下した。



<参考> 四半期推移及び在庫循環図





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今季はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。